

芝浦工業大学無線研究部

2020 年度 OB 総会

Shibaura Ham Audio Computer OB Conference 2020

2020 年 12 月 12 日

芝浦工業大学 斎藤記念館 (Zoom 配信)



目次

芝浦工業大学無線研究部 2020 年度 OB 総会.....	0
2020 年 12 月 12 日 芝浦工業大学 斎藤記念館 (Zoom 配信)	0
OB 会 会長挨拶 -2020 年度無線研究部総会開催にあたって-.....	2
無線研究部 顧問の挨拶 -2020 年度無線研究部総会開催にあたって-	3
現役代表挨拶	4
芝浦工業大学無線研究部 OB 会会則 <案>	5
個人情報取扱規定 <案>	7
会計報告	9
各班活動報告	10
ハム班	10
コンピュータ班	11
オーディオ班	11
現役生からのお願い	12
不要品もらいます	12
無線研究部の Twitter があります	12
OB 会からのお願い	12
OB 会の Facebook があります	12
OB 幹事会に参加しませんか?	12
葉書でなくメールでのご案内を希望される方はお伝えください	12
無線研究部の歩み	13

OB会 会長挨拶 -2020年度無線研究部総会開催にあたって-

昭和49年度(昭和50年)卒 ハム班
OB会会長 原 弘

OB会の皆様、日頃よりOB会の活動に多大なる御支援と御協力を賜り、誠に有り難うございます。2019年度の無線研究部OB会総会で会長に指名されました原です。

先ず、自己紹介を兼ねて、無線研究部での略歴を述べます。

私は、昭和49年度(1974年度)に電気工学科を卒業しました、元ハム班です。在学中は、主に無線機の制作に勤んでおり、50MHz 829B 50WAM送信機のメンテナンスや、SSTVの制作、沖縄復帰時の1.9MHzのサービスインにあわせた6AG7 7W送信機の制作、翌年のAll-JA対策での6KD6x2 200W送信機の制作、2m用200WBoosterの制作、50MHz帯HB9CVアンテナの制作、等々ハード作り専門でした。

在学中の一番の思い出は、1973年7月23～28日にかけて行われた、島根県浜田市にある山陰放送浜田中継局設備のもらい受けです。7MHzで知合ったかたから中継設備更新の件を紹介され、事が大きいので、文化会にあげ、無線研究部の部活の一環にしていただき、鹿島、平岡、箕田、白石、山下、平井、田中(博)と私の8人で、現地で5CH 500WTV送信機2台とSTリンク受信機2台を解体し、白石組から借りた新車のダンプに積み込み、白石、田中、原の3人で、田町校舎まで運びました。入手したデュプレクサや、同軸管などの銅材を売却し7万円、余分となった送信機材の売却で8万円をゲット、山口(白石組)への帰りについても、引っ越し手伝いを行うことで、費用はほぼチャラとなり、文化会費を使わないで済みました。

さて、現在の無線研究部OB会ですが、今回名誉顧問に就任戴いた、前会長の高松さんのおかげで、現役生との交流もある楽しい場となっています。Facebookによる情報の共有化も、高松さんや、菊池さん等のおかげで形ができました。OB会費につきましては、先般ご案内しました通り、今回から振込方式に代えさせていただきますましたが、今後とも皆様のご意見を伺いながら改善してまいります。ただ、会員名簿の数に対して、会費の徴収がうまく出来ていないのも事実であり、その原因は、OB会の情報発信の拙さにあり、皆さんの興味が沸かないからと推測します。

そこで、魅力のあるOB会とすべく、今回のコロナ騒動により、従来のOB幹事会ができない状況対策として取り入れた「Zoom会議」を、今回のOB総会にも活用するとともに、今後OB同士(現役を交えた)の、懇親の場として、「ラグチュー」形式で頻度多く開催していくことを考えていますので、参加していただくと幸いです。また、連絡・情報共有用に、LINEで、無線研究部OB会のグループを作成しましたので、担当の前島までQRコードを送付いただければ、メンバーに追加させていただきます。

これから、新役員一同で、魅力的なOB/現役生の交流の場となるOB会に変えてまいりますので、今後ともOBの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

無線研究部 顧問の挨拶 -2020年度無線研究部総会開催にあたって-

芝浦工業大学文化会無線研究部
顧問 中川 雅史 (土木工学科)
平成 12 年卒 オーディオ班

2020 年は COVID-19 の感染拡大とその対策で、世界全体でレジリエンスが試された年、鍛えられた年となりました。レジリエンスとは、さまざまな環境や状況に適応して、逆境を乗り越える力です。世界全体では、レジリエンスが高い人（現状をなんとかする人）と、レジリエンスが低い人（現状に文句ばかり言っている人）との格差が広がった年にもみえました。現状をなんとかする方向にもっていくのが世のためなので、正しい情報をたくさん収集して、頭をたくさんつかって、主体的かつ肯定的に動くことで、レジリエンスを鍛えることが良いと考えています。いままでの形での社会活動ができないという現状をなんとかする解決策のひとつとして、授業や業務の全面的なオンライン化があったことは今年の特徴です。さらに、OB 総会も初のオンライン（オンサイト&オンラインのハイブリッド）開催となりました。おかげさまで、本年度も OB 総会を迎えることができました。OB のみなさまの大きなご助力に、部の顧問として感謝申し上げます。

授業や業務の全面的なオンライン化で改めてわかったことには、結果を出すまでのプロセスが非常に見えにくいことや、結果だけで評価せざるを得ない場面が多いことが挙げられます。結果だけでの評価とは、10 日かけてやっていた仕事を 1 日でこなして、余った時間は遊んでいても、評価は変わらないということです。近年の日本で取り組まれている働き方改革を抜本的にすすめる上では、追い風になるものです。一方で、業務効率の改善のみに着目した結果、「無駄なことはやらない」という短絡的な考え方に陥ってしまうと、本来遭遇できた多くの「チャンス」を逃すことにつながります。

多くの「チャンス」を逃さないようにするためには、無駄なことのうち、「無駄な作業」と、「一見無駄なことでも意味があること」を見分けるセンスと経験が必要であり、これはプロセスの扱い方に関わるものです。無線研究部の OB にやっていただきたいことは、無線研究部の学生がやっている部活動のプロセスを、いままで以上に見ていただきたいということです。2020 年 12 月時点では、まだ OB が大学に入構できない状態であり、指導に苦勞するところは多いですが、今後とも学生たちへのご指導をよろしく願います。

現役代表挨拶

芝浦工業大学文化会無線研究部 委員長 海津裕矢

世間を騒がせている COVID-19 は我々無線研究部にも大きな影響を与えました。授業のオンライン化や感染症対策のための部活動や大学内への立ち入りの制限だけでなく、各種イベントやコンテストの中止により大幅に活動の幅が狭まってしまいました。また、外出自粛による精神的な負担も大きかったことと思います。今年度は昨年度以上の「例年にないこと」に見舞われながら今できることを考え部員一同頭を働かせた1年であったといえるでしょう。活動に対してさまざまな制限が課せられる中全市全郡コンテストに参加できたことやオンラインでの講習会、PA 業務における配信など新たな活動の方式というものを生み出すことができました。

昨年度委員長が申しておりました「人間万事塞翁が馬」のとおり、だれも予測できなかった不幸を少しでも幸に転じさせようと工夫を凝らし、結果として新方式の本会を開催に至ることができたと思っております。

1年間活動できなかった分、来年はさらに活躍の場を広げ、知識や技術により貪欲に活動していきたいと思っております。「例年通り」ではなく、「例年にないこと」を積極的に経験し、より深みのある濃い活動ができるよう努力していきます。OBの皆様にはこれまでのように暖かく、時には厳しい目で我々の活動を見守って頂くと共に、新しい手法で、身体的な距離は離れていたとしても「密」に無線研究部の活動にご注目頂きますと幸いです。

芝浦工業大学無線研究部 OB 会会則 < 案 >

第一章 名称

第 1 条 本会は芝浦工業大学無線研究部 OB 会と称す

第 2 条 本会は本部を埼玉県さいたま市見沼区深作 3 0 7 芝浦工業大学大宮校舎内に置く

第二章 目的

第 3 条 本会は会員相互の交友親睦を深め、併せて芝浦工業大学無線研究部の発展を図ることを目的とする

第三章 会員

第 4 条 本会は下記の会員から組織する

1. 正会員：芝浦工業大学無線研究部に在籍し、且つ活動を終了した者
2. 準会員：芝浦工業大学無線研究部に在籍している学生及び大学院生

第 5 条 会員は下記の事項を守らなければならない

1. 転居又は住居表示及び連絡先が変更された場合は速やかに届け出なければならない
2. 所定の会費を納入しなければならない

第四章 役員

第 6 条 本会は下記の役員を置く。但し、役員は総会の決議を経て選出される。なお、5, 6, 9 はその限りではない。また、6 及び 9 は無線研究部の学生から選出される

1. 名誉会長 若干名
2. 名誉顧問 若干名
3. 会長 1 名
4. 副会長 若干名
5. 無線研究部顧問 1 名 : 教職員
6. 会計 1 名 : 準会員 (学生)
7. 会計監査 2 名
8. ネット/個人情報台帳管理幹事 若干名
9. 代表学生幹事 (無線研究部委員長)、OB 担当幹事 (個人情報台帳担当を含む)、

会員管理幹事、ホームページ管理幹事

第 7 条 役員の変更は、諸事情により職務の遂行に支障を来たす場合にのみ、当役員が指名し、総会の決議を経て行う

第 8 条 副会長は会長を補佐し、会長に支障のある時はその職務を代行する

第五章 運営

第 9 条 総会

1. 総会は年 1 回行い、原則として大宮キャンパスまたは豊洲/芝浦キャンパスで交互開催とする
2. 会長が必要と認めたときは役員会の決議を経て臨時総会を招集することができる
3. 総会の議長は、原則として会長とする

第 10 条 役員会

本会は役員によって組織され、役員間の協議によって招集し、下記の運営を執行する

1. 年間行事の計画およびその執行
2. 会費徴収及び会計報告
3. OB 会に関すること
4. OB 相互に関すること

第11条 総会及び役員会の決議は、出席会員の過半数の賛成をもって可決する

第12条 会計

1. 本会の経費は、年会費及び寄付金などの収入をあてる

2. 年会費を金3,000円也とし、本会に納入する

第13条 本会の事業及び会計は毎年4月1日に始まり翌年3月31日迄とする

第14条 本会会則は総会の議決を経て改定する

付則：本会会則は総会の議決を経て改定する

1. 当会則は1993年12月25日から施行する。

2. 当会則改訂1は2007年4月1日から施行する。

3. 当会則改訂2は2012年1月1日から施行する

4. 当会則改訂3は2020年12月13日から施行する

個人情報取扱規定<案>

(目的)

第1条 この取扱規定は、芝浦工業大学無線研究部 OB 会（以下 OB 会という）が保有する個人情報について適正な取扱いを確保することを目的として定める
個人情報は、氏名、読み、住所、メールアドレス、電話番号、卒業年度、勤務先、卒業学科、学籍番号、勤務先、無線部役職、コールサイン、逝去、である

(責務)

第2条 OB 会は、国が定める個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）（以下「法」という）等を遵守するとともに、OB 会の活動において個人情報の保護に努める

(周知)

第3条 OB 会は、この個人情報取扱規定を、無線研究部のホームページにより、会員に周知する

(管理者)

第4条 OB 会における個人情報の管理責任者は、OB 会会長とし、管理責任者は、個人情報の管理を行う個人情報管理者（以下管理者という）を若干名任命する

(取扱者)

第5条 OB 会における個人情報の取扱者（閲覧・利用者）は OB 会会則第6条の役員とする

(秘密保持義務)

第6条 個人情報の管理責任者・管理者・取扱者（以下管理責任者・管理者・取扱者）は、職務上知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせ、または不当な目的に使用してはならない、また離任後、OB 会退会後も同様とする

(個人情報の取得)

第7条 OB 会の個人情報は、芝浦工業大学無線研究部そして、本人からの連絡等により個人情報を取得する

(利用)

第8条 OB 会が保有する個人情報は、下記に掲げる項目に利用する

- (1) OB 会個人情報台帳の作成
- (2) 幹事会・OB 総会等々の OB 会活動の案内
- (3) 芝浦工業大学や無線研究部の活動状況の報告広報
- (4) 無線研究部 OB の活動に関する各種情報発信

(管理)

第9条 個人情報は管理者のみがアクセスできるサーバーにパスワード設定したファイルで管理者が保管するものとし、適正に管理する
不要となった個人情報は、適正かつ速やかに廃棄する

(提供)

第10条 個人情報とは、以下に掲げる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者には提供しない

- (1) 会員本人から個人情報を取得する際に伝えて同意を得ている範囲で提供する場合
- (2) 法令に基づく場合
- (3) 人の生命、身体または財産の保護のため必要な場合
- (4) 国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けた者が、法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合。

第11条 管理者は個人情報を芝浦工業大学無線研究部・芝浦工業大学無線研究部 OB会を除く第三者に提供したときは、法第25条（個人情報の保護に関する法律）に定める第三者提供に係る記録を作成し保存する

（第三者提供を受ける際の確認等）

第12条 管理者は、第三者から個人情報の提供を受けるに際しては、法第26条に定める第三者提供を受ける際の確認を行い、記録を作成し保存する

（開示）

第13条

- (1) 個人情報提出者は、提供した個人情報提出者本人の個人情報について管理者に対し開示を請求することができる
- (2) 管理者は、個人情報提出者本人から本人の個人情報の開示について請求があったとき、本人に開示する

（個人情報の訂正等）

第14条

- (1) 個人情報提出者は、第7条に基づき提供した会員本人の個人情報について管理者に対し訂正等を求めることができる
- (2) 前項の請求があった場合、管理者は直ちに該当する個人情報の訂正等を行う

（漏えい発生時等の対応）

第15条 管理者・取扱者は、個人情報を漏えい、滅失、き損等の事案の発生又はその兆候を把握した場合は、直ちに管理責任者に連絡する

管理者は、事実及び原因の確認、被害拡大の防止、影響を受ける本人への連絡、再発防止等の対応を行う

（開示請求及び苦情相談窓口）

第16条 OB会における、開示請求及び苦情相談窓口は、管理者とする

（附則）

この規約は、2020年12月13日から施行する

会計報告

2019 年度芝浦工業大学無線研究部OB会会計について、下記の通り報告いたします。
 なお、参考として2018年度のデータを括弧内に記載しております。

収入の部			
OB 会費	¥3,000 × 15 名	¥ 45,000	(¥ 27,000)
寄付金 (3 名)		¥ 70,000	(¥ 50,000)
前年度繰越金		¥ 329,002	(¥ 360,560)
利子		¥ 4	(¥ 5)
計		¥ 444,006	(¥ 437,565)
支出の部			
往復はがき代		¥ 6,065	(¥ 5,363)
OB 幹事会経費		¥ 6,400	(¥ 5,600)
現役活動支援(自動車保険代)		¥ 80,400	(¥ 97,600)
計		¥ 92,865	(¥ 108,563)
差引残高			
収入 — 支出(繰越金)		¥ 351,141	(¥ 329,002)

以上、2019 年度芝浦工業大学無線研究部OB会会計報告といたします。

OB 会会計 鈴木貴大

12 月 6 日 会計監査担当として上記会計報告に問題ないことを確認しました。

会計監査：前島克好
 広瀬正幸

各班活動報告

火腿班

火腿班 班長 杉崎 嶺

本年度の火腿班の活動は新型コロナウイルスの影響で前期は全く活動できませんでしたが、後期以降は少しずつ活動を再開できるようになってきました。

例年は4月に ALL JA コンテスト、6月に 6m and down コンテスト、8月に Field day コンテストに参加していましたが本年度の4大コンテストへの参加は10月に行われた全市全郡コンテストのみとなりました。全市全郡コンテストについても徹夜での参加禁止や準備時間の制限により万全の態勢で臨むことができず、昨年よりも大幅に得点を落とす結果となってしまいました。

今後も厳しい状況が続くと思われませんがローカルコンテストへの参加等大学当局と調整しながらできるだけ多くの活動ができるよう努めて参ります。

これからも部員が多くの知識を得られるよう、OBの方々から頂いた機材等を活用して様々な知識を習得できるよう精一杯活動させて頂く所存です。



コンピュータ班

コンピュータ班 班長 高橋 孝輔

コンピュータ班では、部内ネットワークや、PC、サーバー等の管理保全を行っております。

今年度は新型コロナウイルスの影響でほとんど大学に行くことができず、従来の活動は不可能でした。活動制限の中参加した ACAG コンテストでは、不十分だったコンテストでのコンピュータ班の仕事の引き継ぎを行いました。

ネットワーク機器等班所有の機材の実際の扱いについて講習が出来ない状況であり活動が滞っていましたが、オンライン授業により家庭の活動時間が多くなったことを理由に PC の購入を検討している部員が多く見られたため、新たに「自作 PC 講習会」を Zoom にて開催しました。

部会を除くと部内では初のオンラインイベントであったため前例がなく、PowerPoint を用いた講義形式で行いました。しかし講義形式にしてしまったがために、相手の顔、声がなく場の空気つかめない、また単純に自分の力量不足により今回の講習会の完成度は低く、多くの反省すべき点が生まれました。この失敗を無駄にしないためにも、今後オンラインにて講習会を行う部員には改善点を伝達し、よりよい講習会を行える手伝いをしていきます。

また、前年度の班長の尽力によりコンテストで使用するノート PC は数、質ともに大きく改善されましたが、部室のデスクトップ PC は約 10 年前の骨董品であり、快適とは言い難くセキュリティー面でも心配な状態です。コロナ規制による部活動制限が解除された後、これに代替する PC を自作、合わせて 2 度目の講習会を開催し、部員に更に知識の共有を図る予定です。さらに経年劣化によるネットワーク機器の不具合が以前から見受けられたため、これも制限解除後に交換する予定であります。できることは少ないですが、来年度により多くのものを残せるよう尽力する所存です。

オーディオ班

オーディオ班 班長 清水 友香

オーディオ班は例年、バンドや会議の PA 作業を大学内外からご依頼いただき活動をしております。また学外業者の音響現場の手伝いを通じて、プロの現場の見学・体験もさせていただいております。

本年度は新型コロナウイルスの影響で思うように活動ができず、苦い一年となりました。今回の OB 総会に向けたオーディオ講習会と総会の PA 作業が全体での唯一の活動となっております。また例年より少ないものの、このような中でも学外業者の方からのご依頼を数件いただき貴重な経験をさせていただきました。

来年度も引き続き私が班長を継続いたしますので、新入生への講習はもちろん個々の技術向上に努めていく所存でございます。

現役生からのお願い

不要品もらいます

無線研究部ではご家庭、職場などで不要となった測定機器類、コンピュータ等を求めています。OBの皆様にとっては不用となったものでも、部員にとっては宝の山になることも少なくありません。そのような物品がございましたらぜひご連絡ください。関東地域など、近場でしたら基本的にこちらから伺わせて頂きますが、その都度状況が変化いたしますので、恐れ入りますがご連絡頂いた際に引き渡し方法について現役部員とご相談くださいますようお願いいたします。

連絡先 : chief@shibaura-hac.net

無線研究部の Twitter があります

無線研究部の Twitter アカウントがあります。コンテストや各イベント時にその模様を投稿しております。現役部員の活動の様子などを知ることができると思いますので、よろしければ是非ご覧ください。

アカウント名 : @JA1YXP

OB 会からのお願い

OB 会の Facebook があります

無線研究部 OB 会の Facebook グループがあります。Twitter と同様コンテストや各イベント時にその模様を投稿しております。よろしければ是非ご覧ください。

非公開グループとなっておりますので、参加するにはグループからの招待が必要になります。部員または OB 幹事会にご相談ください。

OB 幹事会に参加しませんか？

現役生、OB による活動報告、交流を目的とした集まりを開催予定です。

2020 年はオンラインでの開催により、多数行うことができました。現役生による活動報告、OB による測定器講習会などを行いました。

いつでもご参加できますのでご希望の方はお伝えください。

葉書でなくメールでのご案内を希望される方はお伝えください

経費削減のため可能な方はよろしく申し上げます。

無線研究部の歩み

- 1952年(昭和27年)
夏 *第1回アマチュア無線技士国家試験実施
12月 *第2回国家試験でOB会初代会長小森谷英俊氏(JA1HF)、現会長岡田平治先生(JA1HR)、無線研究部前顧問石井義平先生(JA1HI)らが大挙合格、無線研究部発足に向けての技術的な基盤を築いた(当時は好きなコールサインが申請できたそうだった?)
- 1954年(昭和29年) 部長:大山氏または大和田氏(現在の委員長に当たる)
1955年(昭和30年) 部長:岡田、会計:金子
*校友会に予算申請してテレビ製作予算を獲得、長谷川氏らと電気実験室の廊下を部室に借りてキッドのテレビを作成
1956年(昭和31年) 部長:金子、会計:京相
*学園祭(当時はそう呼んだのか)でナショナルの計器類を展示すると共に金子氏の自宅より運んだシャックで無線局を公開
- 1957年(昭和32年)
吉日 *小和田、石田、大山、渡辺各先輩らの協力を得て文化会無線研究部が発足
*その後、小森谷英俊氏の活躍でHF帯、VHF帯のアンテナが建設された
- 1959年(昭和34年)頃
*飯野ホールにおいて3トラック・テープレコーダの磁気ヘッドに着磁したノイズ除去装置を開発し、立体音響発表会を開催して好評を得たその後*光通信による約50mのテレビ中継に成功した
*多チャンネル調整卓(12チャンネル)を試作した
- 1960年代
*真空管式435MHz帯送信機を試作、巣鴨のJARLと芝浦校舎との間で当時の日本タイ記録10Kmの伝搬実験に成功
- 1961年
夏 *福島県裏磐梯檜原湖村で夏期合宿、夢中の磐梯山へ米軍放出10Kg近いトランシーバを担いで登頂
- 1962年
夏 *長野県野尻湖村の公民館を借りて自炊の夏期合宿、テレビなど電気製品の無料修理実施に対し信濃毎日新聞の取材を受ける
- 1963年
夏 *宮城県松島で夏期合宿、午前中は先輩による勉強会、午後は岩場に出てサザエやアワビ取り、夕景は浜辺でキャンプファイヤを囲みウクレレを奏で、笛を吹きハワイアンに深夜まで興じた
- 1964年
夏 *2年前と同じ長野県野尻湖村で夏期合宿
月 日 *岡田平治会長の要請で氏が電気工学科古田晋吾教授を顧問に
- 1994年(平成6年)
11月 *第1回無線研究部OB総会開催、初代会長に小森谷英俊氏を選出
- 1996年
*大宮校舎にて第2回OB総会開催
- 1998年(平成10年)
7月31日 *8月2日まで新潟県石打スキー場近くのペンション“アインホルン”にて夏期合宿、参加者:現役20名、OB7名
- 11月19日 *小森谷英俊OB会長逝去(享年65才)
28日 *大宮校舎にて第3回OB総会開催、満場一致で岡田平治新会長を選出
- 1999年(平成11年)
8月6日*8日まで新潟県越後湯沢村にて夏期合宿、参加者:現役21名、OB9名
2000年(平成12年) 委員長:中島暁子、渉内:畑根啓基、渉外:岡田健太郎
8月4日 *6日まで長野県戸狩野沢温泉村“ベルフォーレ”にて夏期合宿、参加者:現役25名、OB7名
- 11月 日 *大宮校舎にて第4回OB総会開催、参加者:OB17名、現役 名
OB会より5万円寄贈の申し出あり
- 2001年(平成13年) 委員長:濱田幸信、渉内:中野博貴、渉外:佐々木裕果
4月28~29日 *ALLJA コンテスト FMML 社団局電信電話L部門 全国第1位
8月 3日 *5日まで新潟県斑尾高原にて夏期合宿、参加者:現役23名、OB10名
10月6~7日 *全市郡コンテスト FMML 社団局電信電話L部門 全国第2位

- 2002年(平成14年) 委員長:池谷昌浩、渉内:中山健、渉外:河原珠代
 2月 *第12期高松重治氏よりジャンクパーツ寄贈の申し出あり
 8月9日 *10日まで長野県下高井郡山之内町大字夜間瀬の北滋賀高原ヤングイン
 ン北滋賀ユートピア別館・“ういんさむ”にて夏期合宿、
 参加者:現役16名、OB14名
 11月 *芝浦祭にてそば飯屋台出店・教室展示
 11月日 *大宮校舎にて第5回OB総会開催、参加者:OB 名、現役 名
- 2003年(平成15年) 委員長:鈴木正泰、渉内:妙一伸吾、渉外:松本佳明
 8月1日 *3日まで静岡県南伊豆町下賀茂の国立公園南伊豆下賀茂温泉“HOTEL
 みなみの荘”にて夏期合宿、参加者:現役11名、OB6名
 11月 *芝浦祭にてフライドポテト屋台出店
- 2004年(平成16年) 委員長:森琢也、渉内:鈴木正泰、渉外:田中陽祐
 8月6日 *8日まで福島県耶麻郡北塩原村裏磐梯高原秋元湖畔“旅館ひばり荘”に
 て夏期合宿、
 参加者:現役16名、OB2名
 9月22日 *大宮キャンパス無線中継室に落雷
 11月 *芝浦祭にて教室展示・たこ焼き販売
 12月11日 *大宮校舎にて第6回OB総会開催、参加者:OB16名、現役 名
- 2005年(平成17年) 委員長:田中源紀、同副委員長:伊藤伸也、会計:渡辺貴文
 ハム班長:森田修、オーディオ班長:米山知輝、コム班長:渡辺貴文
 *部員 1年生:8名、2年生:4名、3年生:5名、4年生:5名 計22名
 8月26日 *28日まで茨城県阿字ヶ浦“日の出荘”にて夏期合宿、
 参加者:現役18名(1年生6名、2年生4名、3年生4名、4年生4
 名)、OB11名(中山、河原、池谷、渡辺、吉田、犬山、中川、鈴木、
 増田、石川、石黒) 計29名
- 【時期が良かったのか場所が良かったのかわかりませんが、OBが大勢参加されまして近年まれに見るにぎやかな合宿となりました。OBから花火の差し入れがあり、現役・OB一緒に海岸にて花火を楽しむなどOBとの交流もでき、大変有意義な合宿でした。OBが大勢参加されたぶん研究発表も活発になり、1年生には良い経験となったようです。 報告 渡辺貴文】
- 11月 *芝浦祭にて教室展示・じゃがばた一販売
- 2006年(平成18年) 委員長:青木智資、同副委員長:、会計:青嶋成佳
 ハム班長:、オーディオ班長:青木智資、コム班長:小林泰士
 *部員 1年生:7名、2年生:7名、3年生:4名、4年生:5名 計23名
 3月 *田町キャンパス閉鎖に伴い田町部室撤去
 8月25日 *27日まで群馬県利根郡片品村戸倉628“ペンションゆきみち”にて夏
 期合宿、
 参加者:現役18名(1年生4名、2年生7名、3年生4名、4年生3名)、OB11名(石
 黒、中川、鈴木、谷安、藤原、石川、増田、鈴木、濱田、桑原、森) 計29名
- 11月2日~ *芝浦祭にてベビーカステラ屋台出店・教室展示
 12月9日 *大宮校舎にて第7回OB総会開催、参加者:OB16名、現役11名
- 2007年(平成19年) 委員長:町井溪介、同副委員長:八巻奈々恵、会計:田中亨
 ハム班長:菅野英俊、オーディオ班長:鈴木幹也、コム班長:佐々木淳一
 *部員 1年生:8名、2年生:4名、3年生:7名、4年生:3名 計22名
 8月31日 *9月2日まで静岡県沼津市内浦三津8-6“山三ビュウホテル”にて夏期合宿、
 参加者:現役19名(1年生7名、2年生2名、3年生6名、4年
 生4名)、OB9名(藤原、増田、石川、河原、池谷、中山、鈴木、桑
 原、渡辺) 計28名
 あわしまマリンパークでイルカショーを楽しむ。
- 2008年(平成20年) 委員長:細川直哉、同副委員長:松土章吾、会計:高野大輝
 ハム班長:高野大輝、オーディオ班長:前美江、コム班長:井上尚也
 *部員 1年生:20名、2年生:3名、3年生:2名、4年生:7
 名 計32名
 8月29日 *8月31日まで長野県信州野沢温泉“内伴(うちはん)”
 にて夏期合宿、
- 2017年(平成29年) 2017年全市全郡コンテスト XMA 電信電話部門マルチオペ
 オールバンドHにおいて5位で入賞。ACAGでの入賞は約15年ぶり

芝浦工業大学校歌

北原白秋 作詞
山田耕筰 作曲

行進の流れにのって

あ さ ひ に か が や く - か ぜ と う し
お ゆ う だ い そ ら あ り - く も は う - つ
る あ お げ よ - こ う き の へ ん ば
ん - た る - を - は く あ の で ん とう - こ
こ に そ び - え - わ れ ら が こ う が
く - え い き あ つ む - し ば う
ら - し ば う ら - わ れ ら が ほ こ - う -

三

芝浦 芝浦 われらが母校
工學日本 大を成さん
精微をきはめて 事に即かば
夢むな空理の 漢々たるを
誠実 ただあり 道は徹る
永遠に榮ゆく 意志と秩序

二

芝浦 芝浦 われらが母校
磨くにこの技 神に通ず
師弟の純情 一に依りて
行へはがらに 澆刺たれや
剛健 矩あり 常に鍛ふ
世紀に脈うつ 熟と理性

一

芝浦 芝浦 われらが母校
われらが工學 英氣鍾む
白亜の殿堂 ここに聳え
仰げよ校旗の 翻翻たるを
雄大 空あり 雲は移る
朝日に輝く 風と潮